第６回総合計画審議会

― 議事録（要旨）―

■日時：令和７年３月２６日（水）１４：００～
■場所：糸島市役所　市民ホール

（出席委員）
高野会長、野村委員、園田委員、外山委員、宗委員、坂井委員、三谷委員、三井委員、古相委員、辰巳委員、能本委員、工藤委員、石長委員、月川委員、伊原委員、山根委員

（事務局）糸島市
経営戦略部　中村部長
企画秘書課　吉村課長、下尾課長補佐、合六主査

【議事概要】

１　開会

２　会長挨拶

３　報告
（１）経過報告
（２）後期基本計画（案）の確認

・ 進行を高野会長へ
　以下、高野会長による議事進行
・ 事務局より資料１及び資料２に基づき説明

■：委員、○　事務局

■　辰巳委員
後期基本計画（案）を示していただいているが、これが全てか。計画の位置付け、基本構想、用語解説、推進体制、ＰＤＣＡ、経緯などは盛り込まれないのか。

○　事務局
本日お示しした後期基本計画は、施策に関する部分である。後期基本計画を取りまとめていく中では、社会情勢の変化や先ほど言われた各データ、資料等を含めてまとめていく。

（３）共創チャレンジについて

・ 事務局より資料３に基づき説明

・ 質疑意見等なし

（４）指標の設定について

・ 事務局より資料４及び資料４－２に基づき説明

■　石長委員

資料４－２の特に注目する回答者の属性について、基本目標１、政策（２）保育・学校教育の充実で「小学生、あるいは中学生の子と同居する市民」とあるが、政策名の「保育」は未就学児を育てている人も対象となる。既存のカテゴリーに分類されているアンケート項目がそのまま据え置かれるのか。

○　事務局

小学校就学前の方に対する主な施策ついては、政策（１）子育ち・親育ちの支援の充実で行う。政策（２）保育・学校教育の充実は小学生や中学生の学校教育環境の充実がメインの施策になっているため、特に注目する回答者の属性としては「小学生、あるいは中学生の子と同居する市民」として整理している。

■　石長委員

回答者の属性自体は自由に設定することができるが、例えば、保育・学校教育の充実でいうと主な対象者が小学生や中学生のため、そのような整理をしているということか。

○　事務局

はい。

■　高野会長

満足度調査は、住民基本台帳から無作為抽出して調査を行うと記憶している。そうした場合、統計学上「検定」という手続きをとる。例えば、未就学児、小学生、中学生、高校生の子どもがいる人、子どもがいない人、子どもを育て上げた人と分けて、区分によって統計的に差があるどうか確認することもできると思う。世代や属性による違いはないが、高齢者は市に対してどういうご意見を持つ傾向があるかを分析することもできる。次回分析をされる際に、注目すべき回答者をとりあげることだけではなく、注目すべき回答者が、他と違う分布をしているかどうかわかるような示し方もあると思う。

満足度調査は、毎年実施しているのか。

○　事務局

満足度調査は毎年実施しており、前期基本計画の期間中は住民基本台帳から無作為に 2,000 人を抽出している。ただし、単純な無作為抽出では高齢者の回答が多くなるため、過去の調査結果を基に、各世代から均等に回答を得られるような形で抽出している。開催案内にはＱＲコードを付けており、今年の調査結果を確認できる。回答者の属性は、例えば、就学前の０から５歳、小学生、中学生、高校生世代の親、65 歳以上、要介護の認定を受けている人や障害者手帳を持つ人がいる世帯の方、職業等でも把握できる。今後、満足度調査を実施する際には、各担当課で属性ごとに詳細な分析を行い、特に注目すべき回答者層以外にも課題が発生しているかどうかを調査し、施策の改善や改良に役立てていきたいと考えている。

■　高野会長

最近私も調査を実施したものの、回収率が上がらず、調査をすることの厳しさを痛感した。今日の社会環境の中で回答いただいた貴重なデータをぜひ活かして分析していただきたい。

■　三井委員

基本目標２の設問について、設問が「～進んでいると思いますか。」となっている。「進む」が先進的な意味か、ポジティブな方向での変化を問うているのか。回答者としてはどちらとも捉えられるということを考えた時に、おそらく満足度調査としては十分活動が行われているということを問わなければいけないと思うが、「良くなってきている」といった変化の部分に対する回答が含まれると、他の設問と意図の異なるレイヤーになるのではないかと感じる。

○　事務局

基本目標２の設問「～進んでいると思いますか。」について、先進的なという意味ではなく、取組が前に進んでいるという趣旨である。市民満足度調査の設問内容は行政改革推進委員会において検討・精査され、同様のご意見等もいただいている。例えば、番号 16 で「観光客が増加し、観光産業が成長していると思いますか。」について、回答者が「観光客が増加したこと」の満足なのか、「観光産業が成長している」ことの満足なのか、そこが分かりにくいといったご意見もあった。ただし、満足度調査について、後期基本計画の進捗度合いを測る基準として今年度調査したため、今からこの設問内容を変えることは難しい。行政改革推進委員会の意見も踏まえ、令和８年度からの調査は、各設問に対して満足度が「わからない」「満足していない」と回答した場合は自由意見を記載できるように変更する予定である。今までは満足度調査をすべて回答した後に最後に自由記述欄があったが、設問ごとに意見を記載できるようにするため、例えば観光産業に対しての満足度が上がっていない等の分析を行いたい。

（５）令和７年度のスケジュールについて

・ 事務局より資料５に基づき説明

■ 高野会長

来年度は何回審議会を開催するのか。

○ 事務局

７月、９月、10 月の３回の予定。

４ その他

○ 事務局

パブリックコメントの前に委員の皆様に資料を送付する旨を説明した。その際、送付する資料は施策に関するものだけでなく、関連する全ての資料を含む形で送付し、その内容に基づいてパブリックコメントを実施する予定である。

令和７年度７月の第 1 回総合計画審議会は後期基本計画ではなく、前期基本計画にかかる外部点検を審議していただく。４月には日程をお知らせする予定のため、引き続きご協力をお願いする。

５ 閉会

・ 高野会長による閉会のあいさつ

（終了）